



## NETIS登録番号CB-080013-VE モアークリートとは

### 「コンクリート分離低減剤」



モアークリート

モアークリートとは、クラック防止剤として使用されていた「イオン化合物」(表面活性剤混合物)を永年にわたり改良を重ねて完成した、コンクリート分離低減剤です。MORECRETE は「より良いコンクリート構造物」から名づけられています。

静電分散作用において、各材料(セメント、骨材、水、混和剤)の間に瞬時に均一な分散を形成するとともに、セメントや混和剤、界面活性剤の作用を高める効果があります。

その結果、コンクリート構造物の品質(クラックの低減、耐久性、表面品質)の向上、並びに作業性(ポンプ圧送、内部流動性によるスランプ、充填性)の促進・向上が図れます。

## 作 用

アクリル酸エステルや酸モノマー共合体(アンモニア中和)、界面活性剤による静電分散でフレッシュコンクリート内の水分に作用し、より多くの水分がセメントに吸着します。

これにより瞬時にコンクリートを均一にして細孔分布を低減することや、脆弱層(ぜいじゃくそう)の後退を発現するため、分離抵抗性を高めたり耐久性の確保などを発揮いたします。

## 効 果

1. より多くの水分をフレッシュコンクリート内に保有し、ボールベアリング作用を促進して作業性を高めます。
2. ブリージング(分離)を低減して、浮遊水やエア、レイタンスなどの上昇根幹を減少したり小さくして、ひずみを縮小しクラックの発生を低減します。
3. 非常に短い時間でフレッシュコンクリートを均一にするため、水和熱を抑制し、収縮やひずみを小さくすることで、クラックの発生を低減します。
4. より多くの水分の保有と短い攪拌時間で水和熱の上昇を抑制し、強度の安定と耐久性を確保します。

5. 静電分散の作用によって内部流動性を促進し、スランプロス抑制して、コンクリートのポンプ打設を容易にします。
6. 細孔分布の低減や脆弱層の後退によって、型枠面にセメントペーストを形成しやすくなり、仕上がり表面がきれいになります。

## 新着情報

UVV

2017年9月12日 [NETIS](#) [ゲーテン](#) [モアークリート](#) [モアークリート 開発](#) [生コン分離低減剤](#)  
モアークリートが更なる進化！

2014年2月18日 [NETIS](#) [モアークリート](#) [モアークリート 開発](#) [生コン分離低減剤](#)  
モアークリート施工実績写真を追加しました

2014年1月5日 [NETIS](#) [ゲーテン](#) [モアークリート](#)  
ゲーテンの紹介

2013年11月12日 [NETIS](#) [モアークリート](#) [生コン分離低減剤](#)  
新技術情報提供システム(NETIS[ネティス])とは

2013年10月20日 [NETIS](#) [モアークリート](#) [モアークリート 開発](#) [生コン分離低減剤](#)  
モアークリート開発

1

ツイート

いいね! 0

LINEで送る

コメント0件

並び替え [古い順](#)

コメントを追加...

[Facebookコメントプラグイン](#)